



雨季の晴れ間に

日本の各地も梅雨入りしたようですが、こちらは既報の通り雨季に入っています。雨季といえども、毎日雨が降る訳ではなく、朝から曇一つない快晴の日も珍しくありません。それでも、ロックアウトで鬱陶しい日々が続いて来ましたが日本も同様に自粛規制が敷かれ、政府はショボイはした金を嫌々給付して、不評を買っていますが、その心は…。

神によって選ばれし者として、『選民』などと豪語している者の殆どは、『賤民』に他ならない。親や先代の七光りだけが唯一の縁(よすが)であって、実力も能力もない『単なるバカ』が、地盤と看板を引き継いで政治家になり、権力の座に就き、最高権力者にまでなってしまった国の国民の悲劇が、現在であるとすれば、そもそも悲劇を招いたのは国民自身の責任でもある。

「アベガー！」と騒いでいる『あんな人達』も、権力にすり寄っている『そんな人達』も、似たり寄ったりの『同類のムジナ人達』に他ならない。両者共に、その事に気づいていない。常々権力者は(義務と責任を全うしているかどうかが問われるから)批判されて当然である。モリ・カケ蕎麦談議から、花見招待に移り、アベノマスクに至る疑惑満載の安倍政権の評価は日を増すごとに落ちている。忖度し捲り、ODAのバラマキ外交で、外面だけ体面を保って来た歴代最長首相は、あまりにも内政を軽んじて丸投げして来た結果、国難に遭遇しても、須らく国民を救済する気など更々なく、責任など取らない『専門家』『有識者』を寄せ集め、その判断に委ね、『間違った決断』を繰り返している。刎頸の友として重職に置いた側近達も、悉く掌と踵を返し、後ろ足で砂をかけ、暴言を吐いて去って行くだろう。



隣家のリラワディー

はっきり言って、これからやって来るであろう世界的な大恐慌を乗り越える能力は現政権にはない。耳障りの良い甘言や、キャッチフレーズなど聞きたくもないというのが、今の国民の心情ではないかと思う。5月の下旬になってもアベノマスクが届かない世帯も多いと聞く。髪の毛・カビ・汚れ・虫まで入っていたり、異臭まで放つものまでであるという。そんなシロモノは、マスクではない。今やだれも欲しがらない。4百数十億円もの予算を付けて、半分以上で配布できるという井勘定には呆れるしかない。払いたくもない税金を召し上げられ、血税と云われる程の税金をこれほどまでいい加減に使われていることを、しっかり記憶しておこう。

こんなニュースを見聞きするごとに血圧もストレスも上がる一方で、『本当に、日本はどうなっちゃうのか?』国民はもっと怒りを顕わにすべきだと面はゆい気持ちでいる。ストレスが健康を損ねる実体感をしたばかりだから、極力リラクゼーションに努めているものの、こうも毎日日々ネガティブなニュースしか流れて来ないと、無力さ・脱力感しか感じなくなってくる。

私以上に絶望感に苛まれ、神経の高ぶりと共に、眠れぬ夜を過ごしている、中小零細企業の経営者・個人事業主の心情を思う時、政権に対する怒りが再度湧き上がってくる。

<https://www.youtube.com/watch?v=EsnAjtaiTOK>

10万円給付の落とし穴

公明党からの圧力に負けて、ゴマカシ給付30万円を引っ込めて、「日本国民全員に一律給付する」という給付金は受け取りましたか?これもゴマカシで、日本国民でない、税金も国民健康保険料も払っていない、3か月以上滞在している在日外国人にも給付されているのです。生活保護費を支給されている在日外国人も対象者です。バカが付くほどお人よしの日本政府かと笑って済まされないのが、在外邦人は給付対象外としている事です。

在日外国人に給付するのは良しとしても、何で日本に税金を払っている在外邦人を対象外としているのか?国際感覚のない総務省が『住民基本台帳記載の者』に限定しているからです。外国に住居を移しても、日本の法律で、在留届を出す事になっていて、在留届を出した者は、住民基本台帳に準ずるものである事くらいは常識の範疇ですが、非常識で横着な政府は、省庁間の連携を取って、国民を援護・救済する気がない事がバレバレです。

何年経っても拉致被害者が救済できない根本がはっきりと分かる事象でもあります。



おカネの意味も、財政・金融の意味も分からない、分かっているにも国益を全く考えていない政府の官僚・木っ端役人達は、端から省庁間の連携によって危機的状況にある国民の生命財産を守り、救済する事が、公僕の本分だと考えてもいない。自分の置かれた省庁における今の立場だけ、税金(予算)を確保し遣う事だけ、出世する事に最大の関心を持つだけ(今流の言い方をすれば、今だけ・カネだけ、自分だけ)で、やつつけ仕事を消化しているからだ。今・カネ・本来あるべき姿を、以下の動画で再確認して、雨季の晴れ間に憂さまで晴らそう!

https://www.youtube.com/watch?v=A_jlJoWXdro

オカネは、銀行で借りて、つくられる

<https://www.youtube.com/watch?v=2DMADG01T0M>

「減税・粗利補償!反緊縮が日本を救う!」

<https://www.youtube.com/watch?v=awEH5QPOAYk>

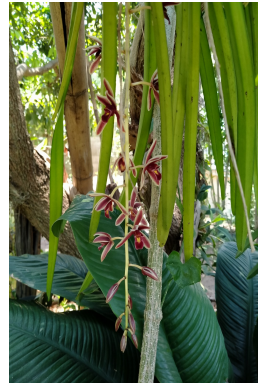
インテリたちのMMT批判はすべて大間違いだ!

～の為に 庶民感覚

今回の武漢ウイルスによるパンデミック(Pandemic)から、実に多くの被害と教訓を得た人は少なくないだろう。私的には、ウイルス感染者ではなかったものの、呼吸器系疾患とPm2.5による空気汚染が相乗して緊急入院し、一命は取り止めたものの、高齢による体力と免疫力の低下に、ストレスが加わると、命取りになることを実感した。

日頃から、健康寿命を全うしたいと思いつつ、性懲りもなく運動不足・喫煙等不健康な生活を送っていて、『元気だけは、空元気も含め人一倍』と過信していました。寄る年波の老齢化現象は避け難く足腰の衰えから杖をついたり、歩けなくなったら車椅子に乗ったりする事は当然だと思いつつも、自分とは関係ない事だと思い込んでいましたが、同居人々と大型スーパーに買い物に行った際、100m歩いてはハーハー・ゼイゼイ状態で、座り込んで休息。その様子を見かねた同居人が車椅子を借りて来て「乗って」と云われるままに初めて車椅子に乗ったりという前兆があって、遂には救急車を呼ぶに至ったという事でもあります。

取り敢えずは回復し、歩行にも支障がない状態ですが、その内杖が欲しくなり、車椅子が必要になるかも知れません。極力周りの人に迷惑と負担をかけたくないのは、『老人』の共通認識だと思いますが、自然現象としての老化は如何ともし難いものの、足腰の老化防止のために、何十年ぶりかで自転車を購入し、朝・晩ユックリズムで2～3Km走る事にしています。

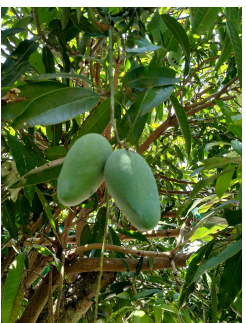


緊急事態宣言解除が徐々に緩和される(日本では5月25日・タイでは6月末まで)ものの日本政府の対応は緊急事態宣言当初からいい加減だったから、今回も軟弱な根拠で解除するが故に、第二波・第三波にどう対処するのかなど、戦略は立っていない(成り行き次第)だろう。

中国(共産党)の発表する情報や数字は、ことごとく信用に値しないものの、共産党にとってネガティブな情報は真意を捉えているようだ。それによれば、武漢では収束処か、第二波の感染拡大が50万人以上に昇るという。発信された情報は即日削除されたというから、信憑性は高い。人の往来は継続的に厳しく制限するとの事だが、物流に関しては緩和する方向で、荷物に紛れてウイルスが輸入されかねない。

習近平国賓来日招待の話は、ペンディングされたものの、取り止めにってはいいない。これに忤度したが故に、全てが後手後手になり、政権支持率まで30%を割るに至っている。『社会活動』が停止され、自宅待機が2ヶ月に及んで『一億総待機疲れ』のストレスがたまっている上に、国内外の動向はネガティブな情報しかない。

今年のGDPは、リーマンショックどころではないほど落ち込むことが予測されている。当然税収も極端に落ち込む。中小零細企業が事業を継続できないで倒産・廃業の数が記録的な件数を示すと同時に、失業者数も失業率もここ数年で経験しなかったほどの数字が出るだろう。政権はレームダック化し、現政権も維持継続することは難しいだろう。デフレ経済下で遣ってはいけぬ消費税増税から始まって、米中経済戦争下に於いて、習近平国賓招待まで段取りした大間違いが、天罰として現状を招いている事だと言うことが未だに分かっていないようだ。運にもツキにも見放された歴代最長というだけの首相は去るのみという事だ。



『～の為に』の正体が、日本を取り戻すためでも、拉致被害者を取り戻すためでも、北方領土を取り戻すためでもなく、日本の政権Topに居座り、世界各国の要人にチャホヤされ、取り巻きに権勢を振るう為だけ、という事が明白に成って来た。今の日本にはそんな首相は必要ない。民のかまどの故事にあるように、民が困窮している事を慮って、3年間徴税を止める事くらいが出来なくて、国を治めることは出来ない。今回、国債発行による赤字補正予算が組まれている。真水100兆円の国債発行をしても日本の財政はビクともしない。100兆円の現金を国民と国内企業に流せば、瞬く間に産業・経済はV字回復し、インフレターゲット2%処か、3%以上の景気回復が期待できる『絶好のチャンス』でもある。(MMT理論)

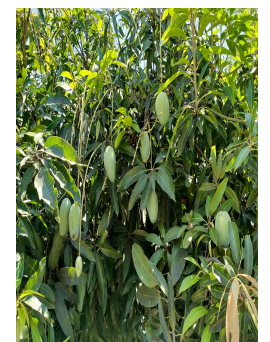
<https://www.youtube.com/watch?v=PZH66P8Rtcg&t=6> 財政出動100兆円で国民を救え！

<https://www.youtube.com/watch?v=rEwn5ndbuew> 自粛しても萎縮するな！ 田村秀男

ピンチの時にこそチャンスが来る！ 実にシンプルな発想(庶民感覚)が窮地を救うのだが、庶民感覚を持ち合わせていないバカなエリートが、訳の分からない変なヨコモジと、ニホンゴを使いながら、国民を騙しに掛っている。(国の借金1000兆円・プライマリーバランスの黒字化・安全でも安心ではない・少子高齢化で日本は衰退する・等々数え上げたら切がない程多い。)

東日本大震災当時に日本人の共助の優しい心根につけ込んで、復興税などを騙し取られた。当時民主党政権だったが、これを提案主導したのが経済学者として財務省の太鼓持ちを遣っている小林慶一郎が旗振り役で、その一派(メンバー)がそっくり、今回の武漢ウイルス災害復興諮問委員会に参加している。赤字国債を嫌々出した財務省は、秘かに何らかの名称を付けた増税で回収(歳入増)を企んでいることはほぼ間違いないさうだ。

「この期に及んで信じられな一！」という庶民感覚など持ち合わせていない輩に要注意！



犬と猫 タイプとスタンス

動物好きでも、蛇とか爬虫類・魚類・昆虫などのマニユアックな愛好者を除けば、概ね『犬好き』か、『猫好き』かに分かれる。ノラ犬か飼い犬がよく分からない放し飼いの犬がやたら多いのも、タイ国の特徴かも知れない。ノラ犬の多くは、夜、お寺の境内で寝泊まりしているとの事だ。タンブン(喜捨)された食べ物の残飯に与かっているようだ。

私は既報の通り、大の猫好きで、タイに居住してからは、近所の猫好きのお宅で飼っていた(聞く処によっては十数匹の雑種)猫の内の一匹『モデル』がやたら懐いて来て、呼べばすっ飛んで来るし、散歩をすれば追て来るし、走れば追いかけても来る。犬みたいな猫だった。

子猫の時は放し飼いの犬に追い掛け回され、必死に大きな木によじ登って難を逃れるのだが、降りるに際しては、高所恐怖症に駆られ足がすくんで降りられない。木の上から助けを求める泣き声を聞きつけて何度か救援した。成猫になってからは、威嚇する事を覚えてドスを利かせた鳴声を発して、ライバルのオス猫をけん制していた。近所の犬達にも一目置かれる存在になると、犬の方がよけて歩いていた。4~5匹の犬に追いかけては、路駐のピックアップ車の下に潜り込み、ワンワン吼え続ける犬達の鼻頭を痛く引っ掻いていたようで、犬の悲鳴を何度か聞いた。

飼い主の配慮で、虚勢手術されたオカマちゃんだったが、芯は男気を遺憾なく発揮していた。



在りし日のモデル



ニューカマー/ラッキー



去年の暮れから同居人家族に参入したラッキーは、順調に成長していても未だジュニアの餌しか食べられません。人間の方が自粛を余儀なくされているのに、夜間外出禁止令もどこ吹く風で、夜中に出歩いては、日中は居眠り三昧のいい身分を決め込んでいます。

朝夕の食事時間だけ、猫なで声を上げながら擦り寄って餌を欲しがらるだけで、自分のライフスタイルは変えず、決して人に忤度などしない処が猫の猫たる所以で、誰にでも尻尾を振りちぎる犬よりも好きな所です。それと、横着な私の性格からも、毎日散歩をしなくても勝手にひとりで走り回ったり、遊んだりしているというのも猫好きの一因です。

猫好きな方なら何度も経験されているでしょうが、こちらと猫と凝視し合うということ。これは、言葉の通じない者同志の意思疎通行為のような気がします。『心理学者の誤謬』かも知れませんが、以心伝心・インスピレーションの伝達のようにも感じます。過日、私が呼吸困難に陥った時のラッキーの様子は、今まで見たこともない「オイオイ大丈夫か?」と云っているようにも見えました。動物の直観力を感じた場面でした。動物学の先生の話を見てみましょう。

<https://www.youtube.com/watch?v=H944ILJoIWM>

男と女と政治の関係

今の家からは、野鳥が多く観測される。種類や名前は全く分からないが、甲高い鳴き声は、鳥のさえずりのはるか上をいく。風見鶏は白鷺かと思ったら、ペリカン科の鳥らしい。『天災は忘れた頃にやってくる』と云われるが、今回の武漢ウィルスは明らかに人災と断定して間違いない。これに引き続いて次の厄災は、蝗害かも知れない。気候変動等がもたらしたバッタの異常発生の映像は恐ろしい限りだが、現実として受け止め、対応と対処を今のうちに考えて置かなければならないだろう。(果たして、日本まで飛んで来るのか! 来ないのか? 分からないが)仮に、飛んで来なくても、蝗害によって、被害にあった国やその国民は、極端な食糧難に見舞われているとの事だ。日本は、食料自給率が30数%だそうで、殆どが輸入に頼り切っている。今回のパンデミックによって、穀物輸出国は一斉に輸出を止めに入っている。日本は、休耕田を早期に復旧して、畜産用穀物でも増産させなければならない。種子法廃止・種苗法処ではない。

https://www.youtube.com/watch?v=TIhsOATs_OU

サバクトビバッタ

<https://www.youtube.com/watch?v=MLBumspw4uU>

バッタ4000億匹はどこへ?



自宅から見た風見鶏



石油は日本もタイも輸入に頼っているから、原油価格の変動は即小売価格に反映する。そうは云っても、小売価格差は倍の開き(日本130円/L:タイ65円/L)がある。ガソリンが日本の半額! なら、ドライブマニアには天国ではあるが、生鮮産品などの日常消費価格が日本の1/3~1/5である事に比較すれば、ガソリン価格が特別安いという現地感覚は無い。

武漢ウィルス感染者の減少から、情緒的に(としてしか思われない)終息宣言をして緊急事態宣言を解除した翌日から、感染者数が増えている。どこが専門家? 知識人? という有様だ。古今東西・間違いを間違いと認めないのが、権威者であり権力者であり、それらの取り巻きで決して責任を取らない。だから、これ等の発言はまともに聞いて頷いてはならない。

猫は猫なで声を発して、擦り寄って来るが、意に反すれば爪を立て引っ掻いて来るし、時には噛み付いても来る。犬も怪しげな(自分の知らない)人には、吼えて来たり、噛み付いたりするが、原則尻尾を振って媚びへつらってくる。タイプとスタンスを固め直す動画をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=W38UXhRNIE4>

なぜ、TV・新聞は報じない?! 財務省・ある官僚の大嘘

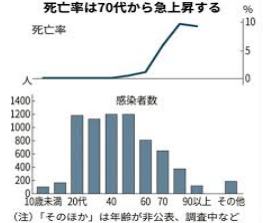
全くもって 上がった

上がったとは、文法的に[名・形動]《動詞「あがる」の連用形+完了の助動詞「たり」から》商売や仕事が振るわないで、どうにも致しようがなくなること。今年は武漢ウイルス騒動で世界中が大混乱を極めているが、経済・経営不振の原因は、内的・外的要因のどちらかか、両方だが、政府による無策の国策に翻弄されている事が嘆かわしい。

未知のウイルスで、未曾有の出来事とは言え、ここまで大騒ぎするほどのものであったかどうか？は、数年後でなければ評価できない(習近平中国共産党政権による一人芝居にまんまと乗せられた感が強い)日本の感染者数、死亡者数は、他国に比較しても圧倒的に少ない。

SARS(サーズ:広東省発の鳥インフルエンザ)MERS(マーズ:中東発の呼吸器症候群)古くは、100年前にパンデミックを起こしたスペイン風邪(A型インフルエンザだった)何れもコロナウイルスが病原体だったとの事だ。基本的には風邪症状が表れた段階から、抵抗力・免疫力の高低・や、生活習慣病などの基礎疾患の有無によって軽症で済むか重篤化するかの分かれ目であって、

昔から『風邪は万病の元』と云われていますが、風邪という病名はなく、何らかのウイルスによって引き起こされる呼吸器症候群を風邪と呼んでいるのだそうです。呼吸困難を引き起こす事からその他の慢性疾患(基礎疾患)を抱えている人や、過労・ストレスなどで体力・免疫力が低下している人は重篤化したり、他の病気を発症したりする事から万病の元と云われているようです。



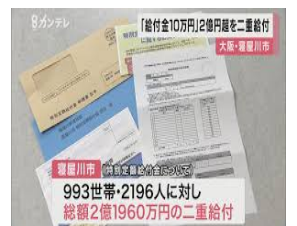
武漢ウイルスは、人工的に作られた疑いの濃い新型ウイルスであるものの、『風邪』を引き起こすウイルスと捉えれば、風邪に備えた予防策をとる以外にないだろう。去年の冬から今年にかけて、インフルエンザは、話題にも上がらなかったし、流行ったのかも知らない人が多いのではないかと。例年1000万人くらいが罹り、1万人以上が亡くなっている。今年は、例年に比較して極端に少なく約1/3位(厚生省発表)で収まっている。

何を云わんとしているのかというと、武漢ウイルスも季節性インフルエンザも「たかが風邪！されど風邪！」他国の対応はそれぞれだが、日本は毎年冬の季節にはインフルエンザが流行って、それなりの対応が出来ているという事だ。ウイルスという敵に対して、最新鋭の医療制度と設備、医薬品、医療従事者の練度の高さがあるという事だ。だから、5月28日現在武漢ウイルス感染者数16,777人に対して、回復者数14,239人死亡者数890人という結果だ。『三密』も『自粛要請』も『緊急事態宣言』も必要なかったと言いたい。オマケに云えば、中国からの観光客の完全シャットアウトは、必須の事だった。更に付け加えれば、武漢ウイルス感染入院患者の半数は中国人だったという情報もある。(彼等は無料で医療提供された)

チビチビ出し渋っている補正予算は、財務省の体質をよく表している。要は、国民第一に考えていない表れでもある。国民あつての国家という国家観が欠如しているからに他ならない。

国民全員に給付するといっていたはずの10万円の特別給付金も、総務省に丸投げして「良きに計らえ」なんて遣っているから、投げられた総務省は、自省で手配することなど更々考えずに、『住民基本台帳を元に給付する』と決め、地方自治体に丸投げして仕事を遣った振りをしている。3ヶ月以上滞在している外国人は、在留届を出したついでに住居登録し、住民基本台帳に記載されれば、税金を払ってなくても、今回の給付にありついている。

日本人であり且つ、日本に税金を払っていても、住所を外国に移した在外邦人は給付の対象外とされている。もらえないから悔しいのではなく、遣り方が悪い加減で、国民目線でない政府の姿勢が嘆かわしい。在外邦人は日本以上に厳しいロックアウトの制限下で頑張っている。



丸投げされた地方自治体のミスで二重払いが起きるだろうと思っていたら、案の定、何件も発生しているようだ。凄まじいのは、返金を催促したら「もう使っちゃったから返せない」という事案も何件もあるようで、国も自治体もいい加減なら、国民までかなり劣化していると嘆かざるを得ない。



武漢ウイルス騒動に翻弄されている間に、今年も半年が経とうとしている。6月は東京都知事選と、ニューヨークで6月25日～26日に開催が予定されていたG7サミットがあったが、サミットは、急遽9月に延期された。武漢ウイルス騒動をうまく事前選挙活動に結びつけた『緑の狸(直近ではコロナ狸)の再選』の可能性が高く為るほどに、都知事選への関心は薄れた。

武漢ウイルス渦でのニューヨーク開催とあって、安部首相はビビりまくり二つ返事でG7参加を表明していない。腰の引けようはみっともない限りだ。「たかが風邪！」「アビガンを、しこたま持って行って来い！」と励ましたい。

米中経済貿易戦争が、武漢ウイルス戦争に拡大し、香港・台湾問題が加熱する重要サミットだけに、万障繰り合わせてでも参加しなければならない重大な会議だ。

米中が繰り広げる第三次世界大戦に於ける米・中二分連合国の、どちら側につくか問われる局面でもある。敗戦国・敵国条項を返上する千載一遇の絶好の機会でもある。強制的な自粛で疲弊している国民に活力をもたらす『親中派との決別と、同盟国との結束の決断』を表明できたら、有終の美を飾れるというものだ。曖昧模糊ならそれまでだ。